

生活の文化を深める

この冬一番の寒波襲来とのニュースですが、日中は暖かい太陽が差し、太陽光発電のメーターは快調に回っています。毎日、発電量表示板の数字を付け替える活動は、「さくらぐみ」の昼食後の大切な当番活動の一つに位置づいています。

また、「あいあい畑」には菜の花が咲きだし、一足早い春の香りが漂っています。しかし、白菜や水菜は小鳥たちの冬の間のエサになり、子どもたちの食卓に登りそうにありません。

昨春に卒園した「さくらぐみ」の同窓会が過日、ありました。「あいあい保育園の煮込みうどんや小豆が

ゆが食べたくなった」ということでした。そして、お正月の伝承遊びやお料理で楽しいひと時を過ごしました。久しぶりに成長した子どもたちに出会い、幼き日の暮らしの中で、日本の生活文化を深められる保育園でありたいと心に留める一日でした。さて、今月末には恒例の「ひなまつり発表会」を予定しています。びわこの四季、伝説などの文化が届けられるような発表会にしたいと模索中です。楽しみにしてください。



太陽光発電は優れもの